

リスクマネジメント

李 洪 茂 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

研究領域は、保険・年金を含む企業と個人に対するリスクマネジメントである。

(1) 企業リスクマネジメントの枠組みとリスクファイナンス

第一、企業リスクマネジメントの枠組みでは、COSO ERM や ISO 31000 等のリスクマネジメントの規格と事業継続計画(Business Continuity Plane)、リスクアセスメントについての研究を行っている。

第二、リスクファイナンスでは、自然災害と保険の対応や保険と金融技術が融合された代替的リスク移転手段である ART (Alternative Risk Transfer) の国際比較研究を行っている。

(2) 個人リスクマネジメント

個人リスクマネジメントは、主として、人身損害保険、医療保険・介護保険・年金がその内容である。また、ゼミでは、留学生の多いゼミ生の特性を生かした共同研究として、本の出版を意識して、公私の介護保険とヘルスケアに関する国際比較研究を行っている。

(3) 指導教員の最近の主要著作

(単著)『保険論』第2版、博英社、2022年(日本語版)。

(単著)『リスクマネジメント論』成文堂、2019年(日本語版)。

(単著)『리스크관리론』博英社、2020年(韓国語版)。

(単著)『风险管理理论』博英社、2020年(中国語版)。

(単著)『パーソナル・リスクマネジメントと保険』博英社、2021年(日本語版)。

(単著) *Risk Management — Fundamentals, Theory, and Practice in Asia—*, Springer, 2021(英語版)。

(編著) *International Comparison of Pension Systems: An Investigation from Consumers' Viewpoint*, Springer, 2022(英語版)。

2. 指導方針

第一に、2023年から3年間は、指導教員が国際金融学会(IAFICO)の会長(Chair Person)を務めることになった。この国際学会での研究報告と論文の投稿を積極的に奨励する。

第二に、2022年10月には、北京大学と早稲田大学の保険ゼミによる共同Workshopが開催され、指導教員を含むゼミ生が英語による研究報告と討論を行っている。学生間の国際交流も積極的に行う。

3. 学生に対する要望・その他

リスクマネジメントに関する研究には、柔軟かつ新しい発想が欠かせない。この柔軟かつ新しい発想は、グローバル化が急速に進んでいることもあり、国際比較研究を通じて得られる場合が多い。外国に関心を持ち続けることが望まれる。